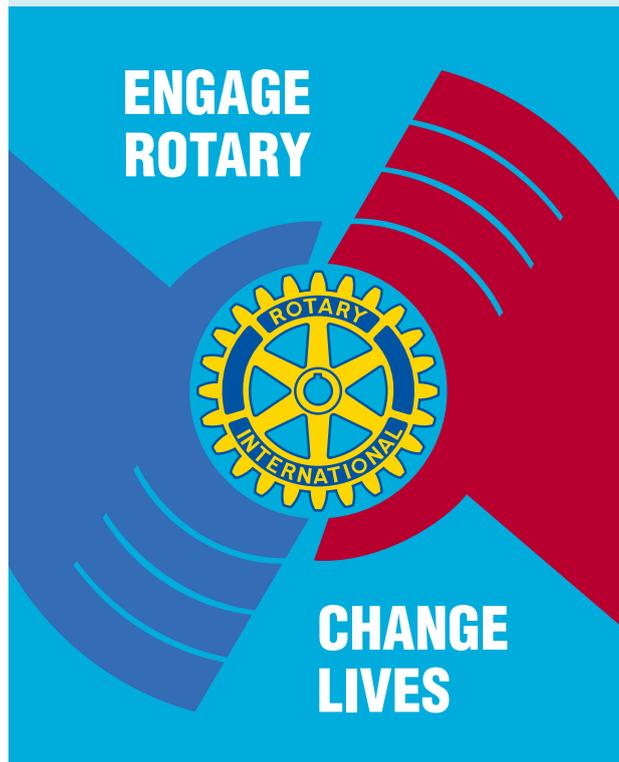


2013 – 2014  
January  
vol. 7

1



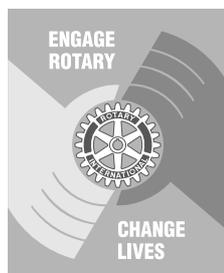
ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2660

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信1月号

国際ロータリー 第2660地区  
2013-2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014  
**GOVERNOR'S  
MONTHLY LETTER**  
January vol.7

## CONTENTS

---

ガバナーメッセージ（ロータリー理解推進月間）	1
ロータリー理解推進月間にあたって	2
ローターアクト海外研修報告	3
米山奨学生ふれあいスピーチコンテスト報告	5
インターアクト年次大会報告	6
クラブロータリー財団委員長会議報告と財団情報	7
地区協議会会計報告	9
ガバナー補佐からのメッセージ	10
我がクラブの目指すところ（IM第4組）	11
災害支援プロジェクト報告（第31回）	15
米山奨学委員会／ロータリー財団	16
2013年11月度 会員数・出席報告	18
文庫通信	19
敬弔／お知らせ	20

# ロータリー理解推進月間にあたって

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

## 福家 宏



この月間にあたっては、ロータリアン自身がロータリーへの理解を深めることが第一ですが、ロータリアンではない周囲の人々にロータリーを紹介するというもう一つの大切な活動であります。

さて具体的には何をすれば良いのでしょうか。何はともあれ、一度国際ロータリーのホームページを開いてみて下さい。数限りないロータリー情報が満載されています。つまりしっかりした情報源がそこにあることをご確認下さい。

それ自体とても意味のあることだと思います。ただホームページを十分に読んだ積りでも、なかなか理解が進むと言うものではありませんが、自分が是非とも必要としている内容であれば、即座に理解が進む筈です。

ロータリーへの理解を深めることは、デスクの前に腰かけていてもある程度可能ではありません。しかしRIやロータリー財団のプログラムに実際に参加すれば、つまり実践を伴えば、理解は数倍進みます。プログラムに関して分からないことがあれば、どんどんリーダーに質問を投げかけて下さい。そしてもう一度ホームページを開いてみて下さい。さらに理解は進みます。ロータリーの理解を推進するには、まずは参加して自ら実践す

ることが最も有効だと私は思っております。

ロータリアンでない人にロータリーを紹介するということも大切です。大船渡市漁業組合の岩脇洋一組合長は、震災で壊滅状態となった地元漁業の復旧に全力を挙げていました。物品の運搬は、手分けして自転車を利用していました。

そこに大阪のRCから支援物資として軽トラック5台が届いたのです。岩脇氏は非常に驚き、感激されました。そして彼は言いました。「ロータリーって何でこんなことが出来るんだ」と。彼が大船渡西RCに入会されたのはそれから間もないことでした。奉仕を通じてロータリーを紹介した素晴らしい一例です。

(岩脇洋一氏は今年度当地区の地区大会に訪問されることになっています)

入会してから年数の浅い会員の皆様に対して、情報集会でロータリー情報を伝えることは、極めて大切です。しかし仮に入会後の年数の短い会員が、実際に大船渡市まで出かけて、岩脇組合長の感激に接したらどうなのでしょう？彼はロータリーそのものに感動する筈です。ロータリアンにとって、このような体験が私は非常に大切だと考えております。

# ロータリー理解推進月間にあたって

パストガバナー

**若林紀男** (大阪東RC)



「ロータリーの目的」の第4項に“奉仕の理念で結ばれた職業人が国際ロータリーの活動を通して、国際理解、親善、および平和を推進すること”と記されております。近年のロータリーはその活動を第4項に主眼をおいているようです。この目的に合ったエピソードを思い出しましたので披露申し上げます。

## <Episode 1>

南米のチリとアルゼンチンの両国間で国境問題が持ち上がり、国民間にも険悪な空気が流れておりました。

時のRI会長(1979~1980)ジェームス・ポリマー(テネシー州、シエルビービルRC)は1980年、会長主催親善会議に2国から各45組の夫妻を招き会議を持ちました。

初めはギスギスした雰囲気でしたが、会議が進むにつれお互いに親しく打ち解けて話し合うようになり、会議の終わりには両国民を和解させる方法まで話し合われ結論を得ました。彼らの関係改善への尽力が和解への大きな一助となり、以来両国は良好な関係を維持し続けています。

この功績を称えポリマー会長に国際共同委員会から名誉ある「アンデスのコンドル章」が授与されました。

## <Episode 2>

イスラエル・パレスチナ問題でカナダ外相であったレスター・ピアソン(カナダ、オンタリオ州 オタワRC 名誉会員)は「オスロ和平合意」を推進した功績で1957年ノーベル平和賞を受賞、受賞した際に「人々がお互いを知らなければ世界に平和がありえるでしょうか？また会ったこともなければどうしてお互いを知り合えるでしょうか？」と述べたといわれています。

オスロのスカエンRCはピアソンに影響を受け、1994年に平和プロジェクト「シャローム・サラーム」を開始しました。このプロジェクトは、イスラエル人とパレスチナ人の大学生が半々のグループをオスロでの夏季講習プログラムに全額負担で招待し、彼らが協力して学び、遊び、食事を共にすることで、かつて敵と見做していた人々について新しい発見をするというものでした。

この2つは第4項の主旨におおいに適う良い事例だと思います。

“世界の人々が相互理解を深め、更なる親交によって信頼を得ることが世界平和に繋がる”と信じて日々のロータリー活動に力を貸して下さい。

\* 参考文献「奉仕の一世紀」

# 国際ロータリー 第2660地区 ローターアクト 海外研修報告

ローターアクト委員会 委員長 **久保義誓** (茨木RC)  
地区ローターアクト 代表 **徳永貴大**

本年度のローターアクトの海外研修は、11月1日～5日にインドネシアを訪問致しました。例年は一つの地区へ訪問するのですが、インドネシアは、ジャワ島より西を第3410地区、バリ島より東を第3420地区と定めており、本年度は、その2地区にまたがった交流をしてまいりました。

第2660地区の参加者は、ローターアクター 27名、ロータリアンが4名の総勢31名。3410地区は、ガバナーを含めた40名。第3420地区も40名と、のべ80人近くの現地ロータリアン、ローターアクターとの国際交流を図ることができました。

海外研修は、海外へ訪問することを目的にしているものではありません。今年度は下記の通り明確な目的を定め、その目的に重きを置いた活動を行いました。

- ①国際ロータリー第3410地区・第3420地区のローターアクトとの交流
- ②現地ローターアクトとの共同奉仕活動
- ③研修参加者は、安全で秩序ある団体行動を続ける為に、研修プログラムを精力的かつ主体的に消化し、参加者全員が有意義な海外体験を積み、今後における国際奉仕活動の学習を行う。

①に関しましては、想像以上に第2660地区のローターアクターから現地ローターアクターへ積極的にコミュニケーションを取りに行く姿が見受けられました。

②に関しましては、ジョグジャカルタでは、文化遺産でのクリーンハイク、現地の高校での植樹活動。バリでは、亀の保護を行いました。

③に関しましては、ローターアクト地区役員のもと、出発前に3回のオリエンテーションを行い、インドネシアについての事前学習や現地での企画を進め、また、現地へ行ってからも団体行動の中でそれぞれが役割を果たし、その中から多くのことを学び得たようです。

以上の3点を踏まえて、海外研修を日ごとに振り返りたいと思います。

## 1日目

関西国際空港にて結団式を行い、地区代表からの海外研修における意思表示が発表されました。そして、飛行機に乗る事7時間半、ジョグジャカルタへと到着。空港では現地のローターアクターに歓迎して頂き、そのまま夕食を一緒にとり交流を図りました。

## 2日目

現地のローターアクター達と共にボロブドゥール遺跡へと訪問し、世界文化遺産を観光しながらクリーンハイクを実施。

その後、現地の高校へと訪問し、学生たちと共に植樹プログラムを実施致しました。訪問した際には、学生達による伝統舞踊や現地の楽器を用いた歌で、今までに経験したことのない心温まるおもてなしを受けました。

その夜は、ウェルカムパーティー。パーティーは、現地ガバナーの挨拶より始まり、福家ガバナーよりの親書を代読、久保委員長挨拶、地区代表挨拶、地区ごとの活動報告やバナー交換を行いました。共に準備をしていたパフォーマンスを行った際には、会場が参加者の笑顔に包み込まれ、国際交流がしっかりと行われている事を感じ取れる懇親会でした。

## 3日目

名残惜しいですが、ジョグジャカルタのメンバーにお別れを告げ、バリのテンパサル空港へと出発致しました。2日目と同じく、到着後にバリのロータリアン、ローターアクター達とウェルカムパーティーを実施。こちらも終始笑いの絶えない懇親会になりました。その後、現地ローターアクターの案内でバリの街を楽しむこともできました。

後日、ウェルカムパーティーで行った、互いの地区の活動紹介がきっかけとなり、第2660地区が毎年行っている献血活動を、今後、第3410地区でも行うと聞いております。

#### 4日目

早朝からベノアビーチに向かい、亀の保護活動を行い、お昼以降はケチャダンス等の伝統舞踊を現地ローターアクト達と共に楽しみました。その後、夕食を共にとった後、空港でバリのローターアクトと最後のお別れをし、日本へと帰国致しました。

このように、ハードスケジュールにも関わらず大きな事故もなく計画どおり海外研修を終えられ、ホッとしたとともに、先程申し上げた3つの目的を実行した参加ローターアクト達には大変感銘を受けました。

今後、この経験を基に第3410地区・第3420地区と

の国際交流が続くことこそ、本当の海外研修の意義だと私は思っております。そして、その交流を通し、海外研修の参加者たちがロータリー活動の本質に近づくことを願っております。

最後になりましたが、今年度の海外研修を一から計画し、実施したローターアクト地区役員の皆様、同行頂きました地区ローターアクト委員の皆様。また、インドネシア第3410地区・第3420地区の皆様。そして、この研修を支えてくださっている第2660地区の各ロータリークラブの皆様にご心から御礼申し上げ、海外研修の報告と致します。



## 第4回

# 米山奨学生ふれあいスピーチコンテスト報告

米山奨学委員会 委員

**中川和之** (大阪船場RC)

日 時：2013年11月2日(土) 14:00~16:00

場 所：OMMビル

参加者：審査員 泉GE、近藤元RI理事、岡部PG、磯田研修委員 以上4名

西谷委員長、近藤副委員長、福田副委員長、吉田、田中、島井、田中、口野、三木、北山、中川各委員  
参加者86名

スピーチコンテストも第4回を迎える事となりました。いつもながら驚かされるのは奨学生の日本語の上手さです。今回もすばらしい日本語のスピーチを披露してくれました。またそれ以上に日本語を通じて自分の成長体験、感動、喜び、不安等を伝える臨場感には毎年感動させられます。日本に一人に来て、今までになかった不安を覚え、真の「個」を見つめ直す。その中で本当の人の温かさにふれ、今までになかった感動と喜びを体験し、自分の過去の反省と未来の任を悟られています。その人生観が若い彼等、彼女等の日本語のスピーチから伝

わってきます。

奨学生の皆様が自国と日本、自国と世界の架け橋になってくれる事を期待し、このスピーチコンテストがその出発点となるよう願っています。

一人の奨学生が言ってくれました。「人はみな生きている中で、自分の方向性を決める出会いに巡りあうことがあります。人によって異なるとは思いますが、わたしにとってそれは米山ロータリアンとの出会いでした。」  
米山奨学生に感謝。

【最優秀賞】 陳 思暢(中国) 「寛容・・・私が伝えたい思い」  
大阪ハイテクノロジー専門学校 世話クラブ 守口イブニング

【優 秀 賞】 鄭 鍾恩(韓国) 「米山奨学生としての私の成長」  
近畿大学4回生 世話クラブ 大阪難波

【特 別 賞】 サバルワーラ・ラワァーニヤ(インド)  
「自己発見！自分が成長したとを感じる事」  
大阪大学博士課程 世話クラブ 千里

陳 瑋文(台湾) 「感謝の気持ち」  
大阪大学修士課程 世話クラブ 大阪大手前



# インターアクト年次大会報告

インターアクト委員会 委員長

**松井隆雄** (大阪天王寺RC)

2013年11月23日(出国民の祝日である勤労感謝の日、四天王寺高等学校・中学校 和光館で福家 宏G、岡部泰鑑PG、泉 博朗GE、立野純三GN、岩津陽介地区研修委員、西本健二地区青少年活動委員長、久保良誓地区ローターアクト委員長をお迎えして、四天王寺高等学校・中学校インターアクトクラブがホストクラブ(スポンサークラブ 大阪天王寺RC)となり開かれました。

参加者はインターアクター101名、顧問16名、保護者3名、ロータリアン29名、特別ゲストとして青少年交換来日学生2名、ローターアクター6名の総勢165名の参加を得て盛大に行われました。

年次大会は当2660地区の6校(大阪桐蔭、浪速、金光八尾、四天王寺、清風、相愛学園)のインターアクトクラブ合同で行う最大のプログラムであります。

当日のメインテーマ「One for all and all for one」～ひとりみんなのために、みんなはひとりのために～であります。

6校の参加インターアクトクラブから本年度の活動報告の後、早稲田大学大学院専任講師の西條剛央(さいじょうたけお)先生に「シンプルで本質的なリーダーシップとは？」(構造構成主義の考え方の一つ)と題して講演をしながらA～Pにグループ分けしたインターアクターに「リーダーシップとは」と質問を投げかけグループごとに討論ワークして、各グループで集約して発表して貰い、それについて西條先生のコメントがなされた。グループワークを通じ「リーダーシップの本質」について理解を深められていった。

西條先生は宮城県仙台市の出身で心理学と哲学の専門であります。

ボランティアの経験をされたことがないのに2011年3月11日に起きた東日本大震災の復興支援に早く立ち上がり、独自の理論「構造構成主義」を駆使し日本最大級の支援組織「ふんばろう東日本支援プロジェクト」を創られ、現在その代表をされています。

人を助けるすごい仕組みの中でも「物資支援プロジェクト」は行政や外の支援団体から支援が受けられなかった膨大な物資を避難所や仮設住宅等へ支援された。このような仕組みを考えられた根底には人に対する思いやり、人に対する優しさの心があったからですが、この



ようなプロジェクトを支えている構造構成主義のもう一つの考え方である「方法の原理」についてテーマを与えられグループワークをして貰ったが、時間の関係でグループごとの発表はなく先生の体験を通じての哲学的話であった。方法の有効性は①状況と②目的から規定からされる。という考え方であった。そのためにもどいうやり方がいいか判断する際には、この2点から勘案すればよいと「自分にむいている方法と、むいて無い方法がある。まねしてもうまくいかない、自分に合わないことがある」「全ての価値は欲望・目的・関心との相関関係にある」

西条先生は前例を重んじる堅い文化の行政では考えられない「柔軟な文化」を持って支援組織を作り運営されていると感じました。

何時起こるかも分からない大震災に遭遇したとき、どのような行動をとるべきか、またリーダーシップを発揮し被災した人々を救援し、支援できるか、そのためには日々考えて行動すべきであることをインターアクターに投げかけられた思いがしました。ロータリーはインターアクトクラブの目標としてインターアクターに対し建設的な指導力を養成し、自己の完成を図ること、人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践することを掲げています。

本日の年次大会がこの目標に向かって大いに役立ったと確信しました。

インターアクターにとって有意義な一日となりました。

最後になりましたが、本日のため長きに亘って準備して頂きました四天王寺高等学校・中学校インターアクトクラブと顧問の岡 宏治、野口 弘、三井淳子、松本真奈先生方に厚くお礼申し上げます。協力頂きました大阪天王寺RCはじめ当地区関係ロータリークラブの皆さまに感謝いたします。

今後ともインターアクトに対し、ご支援とご協力をよろしくお願い致します。

# クラブロータリー財団委員長会議報告と 財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

**溝畑正信** (東大阪東RC)

日時：2013年11月2日(土) 14:00～16:15

場所：薬業年金会館 6F

クラブロータリー財団委員長会議が福家 宏G、大谷 透地区R財団部門顧問／地区研修委員会サブリーダー／PG、AG、AGE、地区代表幹事、財団部門地区委員の皆様など多数のご参加を頂き開催されました。

## 福家 宏 G

“Future Vision Plan = FVP”モデルがスタートした今年度、現在グローバル補助金は10件の申請があり、うち5件が承認された。これは日本34地区のうち承認件数トップであり、12月1日に東京で開催される財団地域セミナーにおいて溝畑財団委員長に発表して頂く。是非グローバル補助金に取り組み、挑戦して頂きたい。

PHSコーディネーターに辻川さんになって頂いた。当地区で、PHSメンバーに10名以上の方になって頂いて嬉しい。

ロータリーカード加入者は他地区に水を空けられている。ロータリアンは無審査で入会できるもので是非ご入会頂きたい。さらに、あと少しのところまで来たポリオ撲滅と、災害支援に協力をと挨拶されました。

## 財団部門顧問 大谷 透 PG

ロータリー財団の創設者であるアーチ・クランプは誠意と熱意の人である、Doing good in the world、その簡潔な言葉のうちにも誠意と熱意が込められている、とアーチ・クランプ物語を話され、クラブ財団委員長はロータリアンの牽引車、燃料は寄付。ロータリアンになったからには燃料の供給者に期待されている、会員に説明してほしい、リーダーシップを発揮してほしいと挨拶されました。

## ロータリー財団委員会 溝畑正信 委員長

ロータリー財団の戦略とクラブ財団委員長の役割というタイトルで、人道的・教育的プロジェクトの規模をこれまでよりも広げ、持続可能性を高めることを目的としたロータリーの新補助金モデル「未来の夢計画」がエジソン銀賞を受賞したこと、財団の戦略として、プログ



ラムを全面的に見直し、人道分野の6重点分野を提唱して、数が限定された規模の大きなプロジェクトへ資金を提供していくこと、短期的プログラムを地区へ移管し、地区補助金の改革をした。

クラブ財団委員長の務めとして、ロータリー財団の戦略と戦術を知り、財団の財務を知り、世界及び日本の奉仕活動の現状を知り、地区の補助金による奉仕活動の実情を知り、クラブ奉仕活動を先導し、年次基金寄付や大口寄付を募ること、と話しました。

## ポリオ・プラス小委員会 木村芳樹 委員長

まず、国際ロータリー発行の“Amazing Stories of POLIO!”を委員会で翻訳した冊子を配布し、地区広報委員会のテレビ大阪でのポリオキャンペーン”あと少しです。力を貸してください”の放映、ロータリーとポリオ、ポリオの現状、ソマリアでポリオ発症について話し、ロータリーの最優先項目であるポリオ撲滅活動に理解と寄付の推進を要請しました。

## 財団補助金小委員会 補助金担当グループ 四宮孝郎 リーダー

FVPが導入されて補助金はどのように使われているか、制度が簡素化されたこと、世界での補助金申請状況、日本でのグローバル補助金申請状況、当地区の地区補助金・グローバル補助金について、また地区補助金の事例を説明しました。

## 寄付増進小委員会

### 今西敦之 委員長・松下一彦 委員

今西委員長はロータリー財団の寄付と認証：寄付の種類<年次基金および使途指定寄付、恒久基金>、認証の種類、クラブ別年次寄付一覧、ロータリー財団への寄付は、税制上の優遇措置の対象となることについて話し、財団への寄付増進とロータリーカードへの入会を要請し、松下委員はロータリーカード利用を考える～ロータリーカード使用による効果～で説明しました。

**ポールハリス・ソサエティ 辻川功一 コーディネーター**

ポールハリス・ソサイアティは、年次基金、ポリオ・プラス、財団が承認した補助金プロジェクトへ年間1,000米ドル以上を寄付頂いたロータリアンやロータリー財団支援者を認証するためのプログラムであり、第2660地区では現在14名がその協力者リストであり、一層の理解と協力を要請しました。

**財団補助金小委員会 奨学金・学友・ロータリー平和フェローシップ担当グループ 梅崎道夫 リーダー**

今年度のグローバル補助金により留学中の2名の奨学生、福田真弓さん、宮尾真利子さん、元ロータリー平和フェローの寺西悦子さん、元国際親善奨学生の西口三千恵さん、上村雄彦さん、中村弘子さんについて話し、ロータリー平和フェローシップ生の募集、およびグローバル補助金奨学生の募集について説明しました。



**資金管理小委員会 和氣 主 委員長**

補助金資金管理チェックリストを示し、全クラブ向けおよび補助金を申請したクラブにチェックして頂くよう求めました。

なお、クラブ財団委員長会議の詳細は、地区ホームページをご覧ください。

**「財団情報」**

**ロータリー財団の補助金**

<日本のGG補助金申請状況> 2013年11月13日現在

GGプロジェクト	奨学金	VTT	人道的	合計
申請書作成中	4	6	36	46
提出済	0	1	8	9
承認済	22	1	8	31

第2660地区はこのうち奨学金2、人道的3が承認済です。

<ポリオ症例数> 2013年12月10日現在のポリオ症例数

	2013年1月1日~12月10日	2012年
アフガニスタン	11	37
パキスタン	74	58
ナイジェリア	50	122
ポリオ常在国以外	チャド	—
	エチオピア	6
	カメルーン	4
	ケニア	14
	ソマリア	183
	シリア・アラブ共和国	17
	ニジェール	—
世界合計	359	223

2013年12月10日現在のポリオ症例数です。現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国です。

ソマリアでポリオの発症が広がっています。隣国の

エチオピアでも2006年以来、初めてポリオの発症が確認されました。この状況に対応するため国際ポリオ・プラス委員会の勧告を受け、財団管理委員長は50万ドルの補助金を支出することを承認しました。

今年が多いのは非流行国でのアウトブレイクが多かったためです。10月17日にはシリアでポリオの集団発生がありました。シリアで最後にポリオ野生株患者が発生したのは1999年でした。子どもたちをポリオから守るためには、現在その国でポリオが発生していても、ポリオワクチンの接種をしっかりとっておかねばなりません。

インドでは官民一体となったポリオワクチン接種が継続されており、2011年1月の発生を最後に、その後発生がありません。

**2013-14年度 ロータリー財団地域セミナー (Zone1,2,3)**

2013年12月1日に、ホテルグランバシフィック LE DA IBAで開催されました。ここで、当地区溝畑正信財団委員長は「第2660地区でのFuture Visionへの取り組み—特にGlobal Grant」で講演しました。今年1年目で解らないことも多く、実際にグローバル補助金プロジェクトを経験した地区から、ベストプラクティスを聞きたいという要望が強い、うまくいった点や苦労した点を紹介して頂きたい、皆さんをエンハンスしてほしいとの依頼を受けました。

# 地区協議会会計報告

代表幹事

**山田正雄** (八尾中央RC)

開催日：2013年4月27日 会場：大阪国際会議場 ホストクラブ：八尾中央ロータリークラブ

## 収入の部

会員数	負担金	クラブ数	収入金額
29名以下のクラブ	90,000円	26	2,340,000円
30名以上のクラブ	110,000円	56	6,160,000円
利子			814円
会員数		82	8,500,814円

## 支出の部

項目	内訳	金額	項目別小計	内訳
会場費	会場	2,757,490円		国際会議場・会場案内板等
	音響・照明	980,890円		音響照明要員等
	飲み物等	398,064円		飲み物・昼食等
	小計		4,136,444円	
会合費等	室料等	40,812円		葉業年金・講師宿泊室料
	小計		40,812円	
印刷費	プログラム	716,100円		
	資料その他			
	小計		716,100円	
記録費	記録冊子	1,627,500円		
	小計		1,627,500円	
謝礼金	講演料等	112,465円		講師・ソングリーダー・ピアニスト
	小計		112,465円	
人件費	給与等	1,386,395円		
	小計		1,386,395円	
雑費	振込手数料	12,990円		
	消耗品	1,120円		文具・コピー代
	送料	8,640円		郵便料・ヤマト運輸
	保険料	27,200円		
	小計		49,950円	
合計				8,069,666円

収入の部	支出の部	残高
8,500,814円	8,069,666円	431,148円

2013-14年度の為の地区協議会会計決算を平成25年度11月26日に八尾中央ロータリークラブ事務局にて開催し、帳票類、領収書等を精査した上で、上記の通りであることを報告します。

平成25年11月26日

実行委員長 野中志郎  
協議会幹事 柳雄二  
協議会会計 片岡基博

平成25年11月26日に協議会会計を解約利子を含め、5,431,456円を地区会計に、振込手数料600円にて5,430,856円送金しました。(仮払い金5,000,000円+残金431,456円)

## [ガバナー補佐からのメッセージ] IMの将来について



IM第4組 ガバナー補佐

**辻本一義** (東大阪RC)

当地区内で、従来から一般的に行われてきたIMの内容について、見直す必要があるのではないかとの意見を耳にする事がある。

その理由は、過去に多く見られたIMの形式は、著名人を講師としての講演がメインであり、高額な講演料を必要とすると共にロータリーの奉仕活動に直接関わりのない内容である事が多々あると感じられる点が指摘されている。

しかし前記の形式は、講師の名前にひかれて参加会員が多くなり、さらに普段は直接聞く事のできない話を聞けるメリットがある。

そこで私の意見としては、研修と親睦面で成果をあげることの出来る内容であれば、ホストクラブの自主性に任せるべきで、前記の形式が採用されるのを否定する意見に賛同できない。

しかし他の形式を模索し、ホストクラブの方針により他の形式を採用されるのであれば、これは新鮮味があり

有意義であると考えます。

この形式として直ぐに思い浮かぶのは、外部講師によらない全クラブ参加形式である。これは、共通のテーマを決めて各クラブの代表者が例えば10分ずつ発表するものである。

テーマとすれば、例えば、会員の維持増強、職業奉仕の具体例、成果をあげた国際奉仕の具体例、姉妹クラブとの付き合いの現状、クラブの問題点とその対策、その他色々考えることが出来る。全クラブから発表者が出るのであれば、参加者の動員にも役立つのではないかと考える。

また、各クラブから最近の新入会員に登壇してもらい、新会員の紹介やロータリーの感想や運営についての意見発表をするのも面白いと思う。

さらにIM内の会員が一同に集まる機会はないから、懇親の場を設けて他クラブの会員との交流を図るのも従来通り行う意義はある。

# 我がクラブの目指すところ (IM第4組)

東大阪RC 会長

## 国宗範彰

当クラブは昭和32年に布施ロータリークラブとして設立。その後の三市合併による東大阪市の誕生を受けて東大阪ロータリークラブと改名し、以来地元根ざした奉仕活動に従事して来ました。

私達は創立55周年時にクラブの将来に向けた存在価値と継承、更なる発展を考えて中期計画を策定しました。クラブの組織誕生の背景と受け継がれるべき精神は、初代会長が設立時の会報の中で述べていますが、その精神を忘れる事無く、会員各位が価値観や充足感、時にステータスを享受し、心の満足を得られるようなクラ

ブライフを実現して行こうと考えています。その為に一定の規模も必要です。21名のチャーターメンバーでスタートした当クラブは現在72名を有しています。3年後の60周年までには最低75名、出来れば80名まで増やしていきたいと考えています。

一方で会員選考委員会ではロータリアンとして相応しくなければ、入会を断る勇気をもってクラブの付加価値と格式を守り、会員資質の向上に努めながら、倫理観とロータリー哲学に準拠した活動を続けて行きたいと思いを。

東大阪中央RC 会長

## 鈴木勝俊

3年後45周年(50周年の前哨として)に向けて、①会員の増強、②クラブの財政面の黒字化、周年事業に向けて財産の積立を増やす、③五大奉仕部門による奉仕活動の活性化、特に東日本大震災復興支援、FVP取組、米山留学生のお世話をさせていただく、④会員同士の益々の

親睦の増進等々となります。

11月21日に行われた情報集会ではクラブに対する熱い思いの発言が相次ぎました。参考にさせて頂きました。有難うございました。

東大阪東RC 会長

## 広田 甫

東大阪東RCは1965年創立され次年度に50周年を迎えます。会員は現在59名(7月1日時点55名)、平均年齢は64歳です。

どのクラブも年代の構成を考えると同じ傾向だと思えますが、我がクラブは60歳代が56%です。10年先のことを考えますと40歳代、50歳代の新会員を確保していかなければクラブそのものの存立が危ぶまれてくるのは必定です。

今年度の第一の方針は会員増強であり、若い、元気の

あるロータリーに相応しい会員を一人でも多く確保すべく努力をしています。

第二の方針は例会出席率の向上です。魅力あるクラブ、活性化されたクラブを目指すには例会や理事会、委員会、協議会などを充実させてより多くの会員に参加していただけるように働きかけが必要であると思いを。第三の方針は新入会員を含めた3年未満の会員に対する研修を充実させて1日も早くロータリーを理解して頂き活躍してもらえるようサポートすることです。特

に新会員にはカウンセラーを2名付けています。

第四の方針は奉仕活動にも積極的に取り組むつもりです。その一つに2005年度に初めて開催した“よろず

相談室”が前年度は行うことが出来ませんでした。今年度は第8回目の“よろず相談室”を今までとは少し趣を変えて主に高齢者をターゲットに開催する予定です。

### 東大阪みどりRC 会長

## 山本昌宏

東大阪みどりロータリークラブは、今年の10月26日に創立15周年式典を無事終える事が出来ました。我々のロータリー活動の一つとして、東大阪市において青少年育成の為に事業があります。その内容は「絵本の読み聞かせ」と絵本の配布を行ってきました。絵本を通じて人への思いやりや優しさをお子たちに伝えたいという思いで続けています。15周年式典において野田市長

から感謝状を頂き、今まで以上に、地域の青少年育成に関して活動を続けていきたいと思っています。

今後のロータリー活動は、大小問わず、心を込めて思いを込めて活動していきたいと思っています。

会員増強においては、昨年3名の純増が出来ました。今年度の目標も純増3名を目指し、今後も創立時の53名を目標に増強を続けていきたいと思っています。

### 東大阪西RC 会長

## 弓手宏亮

東大阪西ロータリークラブは、今年度31名でスタートしました。“ロータリーの仲間の輪を広げよう”のスロロガンのもと、会員増強に力を入れております。と言いますのも、31名の会員中 会長経験者が20数名となっております。頭デッカチとなっております。

昨年度よりの未加入会員の掘り起こしから始めております。現実には1名加入。1名確約までいっており

ます。

そして、出来るだけ楽しい例会を目標とし、ビール例会や移動例会により来て良かった例会を目指しております。

次年度は30周年、IM4組の幹事、東輪会の幹事となっております。次年度がやりやすいようにと考え、今後進めてまいりたいと思っています。

### 大阪柏原RC 会長

## 笠井靖彦

大阪柏原RCは来年45周年を迎えます。会員数は現在31名で、平均年齢はいずれこのクラブとも同じく高いのが悩みです。したがって40歳代の会員獲得を目指しています。今年度40歳代の会員が入会され、うれしい限りです。

大阪柏原RCの社会奉仕活動の柱に「奨学金」と「招待事業」があります。その内容は、

①私たちのクラブの所在地に大阪教育大学があることもあって、大阪教育大学と提携して「奨学金」を提供し、留学生支援をしています。

②柏原市内の社会福祉施設の子ども達を招き、遊園地等々に連れて行く事業です。  
これらの事業をするために、地区へのロータリー財

団、米山奨学会寄付が幾分控え目になっておりますがご容赦ください。

大阪ネクストRC 会長

## 茨木 繁

皆さんご存じのように、当クラブは平均年齢40歳前半です。働き盛りの上、家庭も忙しく、結果例会の出席率が芳しくない状態が続いています。そのような現状を踏まえて、少しでもロータリー活動に参加できるように、色々な趣向を凝らしたイベントや移動例会を土日に開催することにしました。

週末であれば会員が参加しやすく、なかなか例会に出席でない会員の顔を見られる様になりました。実際、出席率の低い会員も参加したいという意向があり、活動に関しても気に掛けてくれています。会長としては、嬉しく感じています。

現在イベントの運営は、会長と幹事を中心に行ってい

ます。時期が来れば、会員が参加だけでなく、運営にも積極的に関わってくれることでしょう。そして、大阪ネクストロータリークラブとして、身の丈に合った活動を継続的に行う予定しています。

各会員の時間的な余裕が出来れば、今まで以上に奉仕活動にも力を入れ、小さくても気持ちのこもった活動を行いたいと考えています。そして、活動に賛同や共感していただける方々を、今後一人でも多く増やしていきたいと考えています。

活動を通じて『一生涯の親友達と楽しく過ごす』そんなクラブを目指したいと考えております。

八尾RC 会長

## 高井榮彌

当クラブは昭和36年に創設、今年度で53年度を迎えたクラブです。

この歴史の中で、私達は多くの友人と出会い、そして決して少ないとは言えない数の友人を失って参りました。

私達はこの現実に向き合い、哀しい別れを繰り返さぬよう、その原因を直視した上で全員結束を是として、先ず会員それぞれが充実したロータリーライフを楽しんでいただけるクラブを目指したいと考えます。

会員がロータリーの集会や事業に参加する事が楽しみとなり、にこやかに集まって活動し、互いに労をねぎらい合う。そんな会であれば人が人を呼び、仲間の数は増えて行くと信じています。

強い結束と高い意識を持った会員が集まれば、自ずと奉仕事業の質も向上し、更に大きな喜びを得られることでしょう。恐らく先輩方には当たり前であったであろう事を、もう一度信じて実践する魅力溢れるクラブとしたいです。

八尾中央RC 会長

## 柳 雄二

私たちのクラブのように最小単位のクラブにとって、このテーマは難しい。一言で言えば増強しかないともいえる。「衣食たって礼節を知る」「貧すれば鈍する」ではないが、理念が後回しになりがちである。やはり目の目標は増強になるが、この増強が難しい。ここしばらくの間、会員数は漸減の一途を辿っている。色々と議論はするがやはり従来通り友人知人を頼る、という方法から脱却できず、新しい方法に踏み出せていない。

泣き言はやめて、かかる状況で強いて当クラブの目指

すところは何かとなるとやはりロータリーの目的(綱領) 考えて進もうということになる。

また当クラブの長所は何かを改めて考えてみると、会員全体が堅くまとまり、特に夫人の結束は固い、何か事あるとクラブ全体で強いスクラムが組めるということになる。特に今年度は弱小クラブからガバナーを輩出し、他クラブ様の助けをかりて取り組んでいるが、この中から何かが生まれてくることも期待しているという、他力本願になってしまうか。

八尾東RC 会長

## 山田哲男

ロータリークラブとして最終的に目指すのは「ロータリーの綱領(目的)」ですが、我がクラブとしては「入りたくても入れないロータリークラブ」を目指したいと思えます。

近年の会員減少の原因は、入会していることに対する負担をメリットで埋め切れていないことにつきます。現状では得られない新たなメリットとして、ロータリー初期に活発に行われていたという「相互扶助」こそ、有力な候補ではないでしょうか。

第一ステップは、「職業奉仕」をしっかりと判り易く

定義し、それを会員全員が正しく理解し実践すること。

第二ステップは、職業奉仕を共通のペースとして持つ仲間との「親睦活動」、地域社会・外国・青少年に向けた「社会奉仕活動」を充実させるとともに、「相互扶助」の考え方を復活させ具体的・直接的なメリットを享受できる仕組みを構築すること。

この二つのステップによって、「入りたくても入れないロータリークラブ」=魅力あふれるクラブを実現し、それらを通して「ロータリーの綱領(目的)」を達成することを「我がクラブの目指すところ」と考えます。

# 災害支援プロジェクト報告 (第30回)

災害支援プロジェクト委員長

**高島凱夫** (大阪中之島RC)

## 1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285

口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博

(ダイニロクロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

## 2. 災害支援地区基金の状況 (2013年12月 8日現在)

### 【収 入】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備 考
1	前月からの繰越	3,521,512	
71	箕面千里中央	74,000	基金
72	高槻西	19,000	フィリピン災害
73	大阪難波	51,000	フィリピン災害
74	大阪城北	28,000	フィリピン災害
75	大阪リバーサイド	27,000	フィリピン災害
76	大阪東南	50,000	フィリピン災害
77	千里メイプル	22,000	フィリピン災害
78	大阪東淀ちゃやまち	30,000	フィリピン災害
79	豊中	43,000	フィリピン災害
80	大阪フレンド	50,000	フィリピン災害
81	大東中央	50,000	フィリピン災害
82	八尾	600,000	フィリピン災害
83	大阪北	122,000	フィリピン災害
84	香里園	38,000	フィリピン災害
85	大阪柏原	30,000	フィリピン災害
86	大阪西	60,000	フィリピン災害
87	門真	29,000	フィリピン災害
88	茨木西RC	100,000	フィリピン災害
89	大東	35,000	フィリピン災害
90	大阪堂島	50,000	フィリピン災害
91	大阪なにわ	33,000	フィリピン災害
92	箕面千里中央	65,000	フィリピン災害
93	高槻西	30,000	フィリピン災害
	合 計	5,157,512	

### 【残 高】

(単位:円)

預金残高	5,157,512	2013年12月 8日現在
------	-----------	---------------

# 米山奨学委員会／ロータリー財団

## 地区米山奨学委員会より

2013年 10月末	全国寄付金合計額	512,217,015円	(前年同期比1,150万円増)
	第2660地区寄付金合計額	36,288,950円	(前年度比42.71%増)
	全国寄付合計トップ10		
		1. 第2750地区	38,508,652円
		2. 第2660地区	36,288,950円
		3. 第2770地区	31,668,500円
		4. 第2650地区	30,893,283円
		5. 第2760地区	30,831,300円
		6. 第2590地区	28,503,700円
		7. 第2580地区	27,602,850円
		8. 第2790地区	19,681,200円
		9. 第2690地区	16,908,410円
		10. 第2670地区	15,785,400円

## 米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2013年10月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
張 虞安	3	交野RC	川崎 二郎	3	大阪御堂筋本町RC	大橋 孝夫	2	大阪東RC
西邨 智雄	7	香里園RC	久我 四郎	4	大阪御堂筋本町RC	岩部 博	2	大阪東RC
土井 晶三	1	高槻西RC	岡田 俊作	4	大阪御堂筋本町RC	野村 良男	3	大阪東RC
長積 優	1	高槻西RC	古澤 照男	7	大阪御堂筋本町RC	大森 富夫	3	大阪東RC
永井 和夫	1	高槻西RC	大道 力也	1	大阪城東RC	藤村 達夫	4	大阪東RC
高橋 徳	2	高槻西RC	西谷 雅之	10	大阪城南RC	太田 重彦	4	大阪東RC
菊田 芳	1	守口RC	伯耆 徳武	3	大阪天王寺RC	山本 武男	5	大阪東RC
清水 大吾	1	吹田西RC	高森 隆	4	大阪天王寺RC	片山 勉	6	大阪東RC
伊藤 泰充	1	吹田西RC	松井 隆雄	4	大阪天王寺RC	田中 宏毅	1	大阪南RC
羽間 平安	11	大阪RC	杉本 源衛	4	大阪天王寺RC	八ツ橋 直	1	大阪南RC
亘 信二	1	大阪RC	津留 正孝	4	大阪天王寺RC	谷 明	2	大阪南RC
吉本 晴之	1	大阪RC	高見 篤志郎	4	大阪天王寺RC	米倉 彦之	2	大阪南RC
大井 篤	1	大阪RC	新見 葵	4	大阪天王寺RC	上村 豊	3	大阪南RC
笹倉 敏彦	3	大阪RC	西埜 毅	4	大阪天王寺RC	米田 幹郎	3	大阪南RC
羽鳥 敬彦	3	大阪RC	吉岡 宏之	4	大阪天王寺RC	横山 順治郎	3	大阪南RC
嘉納 秀一	3	大阪RC	若宮 邦弘	4	大阪天王寺RC	木村 芳樹	3	大阪南RC
谷川 正	5	大阪RC	家田 成夫	4	大阪天王寺RC	井上 通敏	3	大阪南RC
岸本 忠三	6	大阪RC	古池 幹郎	4	大阪天王寺RC	多田 準二	3	大阪南RC
三柴 利雄	1	大阪RC	吉田 章男	4	大阪天王寺RC	早石 誠	4	大阪南RC
川勝 泰司	1	大阪RC	新屋 正富	4	大阪天王寺RC	大楠 善彦	4	大阪南RC
田淵 暉久	2	大阪RC	平尾 一平	5	大阪天王寺RC	掛川 雅仁	4	大阪南RC
石原 福造	2	大阪RC	北村 修久	1	大阪天満橋RC	山本 博史	4	大阪南RC
扇谷 迪宏	2	大阪RC	末澤 正大	1	大阪天満橋RC	小八木 規之	6	大阪南RC
山本 良一	4	大阪RC	目幸 文範	1	大阪天満橋RC	平岡 英信	6	大阪南RC
立野 純三	7	大阪RC	山田 雅浩	3	大阪天満橋RC	永江 溥	7	大阪南RC
木村 直樹	10	大阪RC	保倉 賢造	5	大阪天満橋RC	慶元 眞二	1	大阪難波RC
海老原 善隆	1	大阪RC	二宮 秀造	6	大阪天満橋RC	菰田 吉見	1	大阪難波RC
齋藤 紀八郎	1	大阪御堂筋本町RC	北川 勝治	10	大阪東RC	松浦 孝尚	1	大阪難波RC
木戸 敏	2	大阪御堂筋本町RC	堀 隆	11	大阪東RC	田中 成和	1	大阪難波RC
重田 秀義	3	大阪御堂筋本町RC	村田 吉弘	12	大阪東RC	滋野 雅之	1	大阪難波RC
谷本 隆広	3	大阪御堂筋本町RC	中平 公士	1	大阪東RC	白野 陽一	2	大阪難波RC
山田 耕司	3	大阪御堂筋本町RC	橋山 宗弘	2	大阪東RC	神田 眞晃	2	大阪難波RC
安部 潤一	3	大阪御堂筋本町RC	新井 信彦	2	大阪東RC	三田 昌孝	1	大阪柏原RC

氏名	回数	クラブ名
小原 進	2	大阪柏原RC
古賀 省三	4	大阪柏原RC
高井 康伊	5	大阪柏原RC
西尾 寛一	7	大阪柏原RC
松崎 継昭	1	大阪北RC
山内 芳樹	1	大阪北RC
吉田 昌功	1	大阪北RC
野村 公平	1	大阪北RC
小谷 茂雄	1	大阪北RC
柴田 高	1	大阪北RC
大野 康裕	1	大阪北RC
馬場 俊和	1	大阪北RC
木下 光	1	大阪北RC
前田 順一	2	大阪北RC
益田 哲生	2	大阪北RC
魚本 慶一郎	2	大阪北RC
岩堀 雅彦	2	大阪北RC
梶原 常義	2	大阪北RC
戸奈 常光	2	大阪北RC
栗本 友和	3	大阪北RC

氏名	回数	クラブ名
山下 和彦	3	大阪北RC
山本 潤	3	大阪北RC
真野 清以志	4	大阪北RC
島田 誠次郎	4	大阪北RC
山下 嘉治	4	大阪北RC
薩摩 卯一	5	大阪北RC
石田 豊司	5	大阪北RC
江崎 正道	6	大阪北RC
桐山 輝彦	7	大阪北RC
古川 真照	1	大東中央RC
荒金 正之	1	大東中央RC
奥田 周一郎	1	大東中央RC
長崎 弘芳	2	大東中央RC
岡市 勝男	2	大東中央RC
峠 松次	3	大東中央RC
田中 正美	3	大東中央RC
糸川 千恵子	4	大東中央RC
小林 一成	5	東大阪東RC
佐野 清	10	八尾RC
山本 義治	15	八尾RC

氏名	回数	クラブ名
水野 雅由	1	八尾RC
長竹 浩	1	八尾RC
宮川 清	1	八尾RC
今西 敦之	2	八尾RC
笠井 実	2	八尾RC
田中 康正	2	八尾RC
吉本 憲司	2	八尾RC
小林 成禎	3	八尾RC
小山 悦治	4	八尾RC
山本 昌市	4	八尾RC
中島 孝夫	5	八尾RC
池尻 誠	5	八尾RC
高井 栄彌	6	八尾RC
武枝 敏之	1	豊中RC
米田 真	3	豊中RC
村司 辰朗	2	豊中RC
堀田 修平	45	枚方RC
原 暎	10	箕面千里中央RC
藏田 禎夫	3	箕面千里中央RC
西村 是滋	4	箕面千里中央RC

### 米山功労クラブ 次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2013年10月)

クラブ名	回数
交野RC	15
香里園RC	2
吹田西RC	32
大阪RC	108
大阪御堂筋本町RC	41

クラブ名	回数
大阪城南RC	40
大阪天王寺RC	51
大阪天満橋RC	52
大阪南RC	84
大阪難波RC	52

クラブ名	回数
大阪柏原RC	31
大阪北RC	83
八尾RC	56

### ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2013年10月)

氏名	クラブ名
西田 英夫	くずはRC
山本 博通	大阪東RC
壺山 和憲	大阪東RC

氏名	クラブ名
小高 得央	大阪東RC
本田 良介	大阪東RC
沖中 隆志	大阪東RC

氏名	クラブ名
上原 武彦	大阪東RC
小野 徹弥	大阪東RC

### マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2013年10月)

氏名	回数	クラブ名
朱 明義	1	茨木RC
前田 葉子	5	大阪リバーサイドRC
山下總一郎	2	千里メイブルRC
岡本 浩	4	大阪城東RC
藤原 和彦	2	くずはRC
國田 欣吾	1	くずはRC

氏名	回数	クラブ名
岩本 昌治	2	くずはRC
山口 尚志	1	くずはRC
宮里 唯子	3	茨木西RC
河田 英子	3	大阪ユニバーサルシティRC
田中 弘文	1	大阪東RC

### ベネファクター 次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2013年10月)

氏名	クラブ名
関谷 洋子	豊中RC

氏名	クラブ名
福山 信也	大阪城東RC

# 2013年11月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	11月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第1組	池田	37	38	2	1	0	1	4	75.00	70.14
	池田くれは	28	30	1	2	0	2	3	89.70	84.55
	箕面	25	28	2	3	0	3	4	79.53	75.58
	箕面千里中央	21	22	0	1	0	1	5	93.46	89.36
	豊中	45	46	4	2	1	1	4	86.37	68.18
	豊中南	28	29	2	1	0	1	4	83.60	75.40
	豊中-大阪国際空港	20	21	0	1	0	1	5	69.00	60.95
	豊中千里	39	37	3	1	3	-2	4	83.46	76.82
	小計	243	251	14	12	4	8		82.52	75.12
	I M 第2組	茨木	25	26	3	1	0	1	4	82.83
茨木東		39	41	4	2	0	2	4	80.39	69.26
茨木西		28	28	6	0	0	0	4	84.11	74.82
千里		38	38	0	0	0	0	4	88.16	78.02
千里メイプル		22	22	2	1	1	0	4	95.18	86.75
摂津		37	37	2	0	0	0	5	85.37	65.27
吹田		60	60	10	2	2	0	4	92.44	84.90
吹田江坂		34	34	2	0	0	0	4	96.66	87.58
吹田西		47	50	2	3	0	3	3	100.00	93.20
高槻		51	50	6	0	1	-1	4	91.49	85.89
高槻東	36	37	1	1	0	1	5	97.78	91.98	
高槻西	20	21	0	1	0	1	4	97.62	82.14	
小計	437	444	38	11	4	7		91.00	81.25	
I M 第3組	大東	42	43	0	1	0	1	3	97.85	90.13
	大東中央	28	29	11	1	0	1	4	80.00	74.99
	枚方	40	45	0	6	1	5	3	81.67	80.83
	門真	30	32	6	3	1	2	4	87.50	75.78
	交野	32	33	1	1	0	1	4	77.02	72.24
	香里園	15	16	0	1	0	1	4	91.29	84.38
	くずは	52	54	0	2	0	2	4	73.59	63.07
	守口	42	42	4	0	0	0	4	87.50	78.75
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	81.48	77.78
	寝屋川	42	42	5	0	0	0	5	88.57	80.95
四條畷	12	12	0	0	0	0	4	95.46	95.46	
小計	362	375	31	15	2	13		85.63	79.49	
I M 第4組	東大阪	70	72	0	2	0	2	5	81.17	68.22
	東大阪中央	33	33	0	0	0	0	4	88.53	68.73
	東大阪東	55	59	4	4	0	4	4	87.71	77.99
	東大阪みどり	30	30	1	0	0	0	4	80.00	65.00
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	3	96.43	75.07
	大阪柏原	30	31	2	1	0	1	4	85.03	81.46
	大阪ネクスト	19	19	8	0	0	0	4	68.42	46.05
	八尾	60	61	0	2	1	1	4	74.23	70.95
	八尾中央	16	16	0	1	1	0	4	88.65	80.52
	八尾東	26	26	1	0	0	0	3	84.27	71.99
小計	370	379	16	11	2	9		83.44	70.60	

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	11月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	50	6	5	1	4	4	93.46	79.89
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	3	78.88	72.22
	大阪北	197	197	0	7	7	0	4	74.65	60.82
	大阪北梅田	50	52	3	3	1	2	3	76.62	65.58
	大阪西	75	76	0	1	0	1	3	86.71	78.46
	大阪大淀	36	39	0	3	0	3	4	85.94	80.47
	大阪リバーサイド	34	37	7	3	0	3	4	91.78	76.19
	大阪西北	49	52	0	3	0	3	4	93.48	76.73
	大阪そねざき	35	37	23	3	1	2	4	93.83	81.20
	大阪梅田	25	24	1	0	1	-1	4	84.24	76.28
大阪梅田東	25	30	0	5	0	5	5	86.00	66.66	
大阪ユニバーサルシティ	32	34	5	2	0	2	4	85.94	73.44	
小計	632	658	46	37	11	26		85.96	74.00	
I M 第6組	大阪	257	264	1	12	5	7	4	77.19	56.86
	大阪東	117	119	0	5	3	2	4	93.97	75.85
	大阪東淀ちゃやまち	30	30	3	0	0	0	3	84.41	82.83
	大阪城東	43	42	5	2	3	-1	5	89.94	85.30
	大阪中之島	27	28	1	1	0	1	4	89.28	74.10
	大阪大手前	35	36	4	1	0	1	5	85.12	75.95
	大阪城北	49	50	3	2	1	1	4	77.24	73.95
	大阪天溝橋	68	67	0	1	2	-1	4	79.22	77.55
	大阪鶴見	32	31	0	0	1	-1	4	89.16	81.09
	大阪淀川	28	29	3	2	1	1	5	95.86	83.69
新大阪	32	33	1	2	1	1	4	90.15	86.37	
小計	718	729	21	28	17	11		86.50	77.59	
I M 第7組	大阪フレンド	25	28	4	3	0	3	4	88.40	72.32
	大阪御堂筋本町	61	60	3	0	1	-1	4	81.94	69.88
	大阪南	144	158	0	15	1	14	4	84.94	70.91
	大阪難波	46	52	0	6	0	6	4	94.17	81.47
	大阪なにわ	25	27	3	2	0	2	3	92.30	88.45
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	4	87.48	75.96
	大阪西南	98	101	21	3	0	3	4	91.31	70.05
	大阪船場	39	38	0	0	1	-1	3	97.00	86.70
	大阪心斎橋	33	35	0	2	0	2	5	97.14	84.16
	大阪うつぼ	33	34	4	1	0	1	4	90.71	80.59
小計	519	548	38	32	3	29		90.54	78.05	
I M 第8組	大阪平野	32	32	3	1	1	0	4	96.55	87.87
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	4	89.29	75.00
	大阪城南	53	53	0	2	2	0	4	95.38	87.76
	大阪咲洲	18	19	1	1	0	1	4	82.90	73.68
	大阪天王寺	56	58	0	2	0	2	4	85.77	78.66
	大阪帝塚山	53	55	4	2	0	2	4	82.30	75.21
	大阪東南	50	51	0	1	0	1	4	92.16	66.18
	大阪アーバン	23	25	7	3	1	2	4	81.00	79.00
	大阪みおつくし	34	30	13	2	6	-4	4	70.83	67.50
	小計	333	337	31	14	10	4		86.24	76.76

合計	クラブ名	7月期初 会員数	11月末 会員数	女性 会員数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3614	3721	235	160	53	107	86.5	76.6

# 文庫通信 (315号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

---

## 地区大会講演より

---

- 「人として野球人として」  
小早川毅彦 2013 8p (D.2530地区大会記録誌)
- 「これからの日本について」  
鳥越俊太郎 2013 2p (D.2740地区大会記念誌)
- 「愛と汗の心」  
久世郁夫 2013 13p (D.2510地区大会記録)
- 「国際社会の中の日本」  
五百旗頭真 2013 2p (D.2680地区大会記録)
- 「平和って、なに色？～私たちにできることを考えよう!」  
ロニー・アレキサンダー 2013 2p (D.2680地区大会記録)
- 「地域活性化と芸術(アートフォーラム)」  
北川フラム(コーディネーター) 2013 6p (D.2760地区大会の記録)
- 「誰も書けなかった沖縄」  
佐野真一 2013 4p (D.2580地区大会の記録)
- 「いま日本の平和を問う」  
小川和久 2013 19p (D.2590地区大会記録誌)
- 「ガウディに挑む男を追う!! -職業人としての使命」  
星野真澄 2013 4p (D.2730地区大会記録誌)

[以上申込先：ロータリー文庫]

---

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

## 敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

**廣 田 敦 善** 会員（大阪城北RC）

2013年11月18日 逝去（享年75歳）

会長、職業奉仕委員長

米山功労者（マルチプル）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

**池 谷 典 彦** 会員（大阪西北RC）

2013年12月5日 逝去（享年68歳）

会長、幹事、理事、  
職業奉仕委員長、親睦活動委員長

米山功労者（マルチプル）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

**中 村 精 一** 会員（大阪城南RC）

2013年11月22日 逝去（享年65歳）

**廣 瀬 勘 一 郎** 会員（大阪西南RC）

2013年12月16日 逝去（享年92歳）

会長、創立30周年記念行事実行委員長、  
創立40周年記念行事名誉委員長

国際ロータリー第2660地区ガバナー

**湯 尾 恵 子** 会員（大阪うつほRC）

2013年11月30日 逝去（享年74歳）

社会奉仕委員長、ロータリー財団委員長、  
会員研修委員長

米山功労者（マルチプル）

ポール・ハリス・フェロー

米山功労者（マルチプル）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

## 月信編集委員会からのおねがい

□ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

□投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。

□物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

□今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

### 月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度  
国際ロータリー 第2660地区

## ガバナー事務所のご案内

### ●事務局スタッフ

ガバナー	福家 宏
地区代表幹事	山田 正雄
地区副代表幹事	中井 敬和
事務局長	栗正 久美
事務局員	春名 志保
	奥田 純子
	井上 望美

### ●所在地

〒541-0052  
大阪市中央区安土町1-5-11  
トヤマビル東館6階  
TEL 06-6264-2660  
FAX 06-6264-2661  
E-mail gov@ri2660.gr.jp

### ●ホームページ

<http://www.ri2660.gr.jp/>

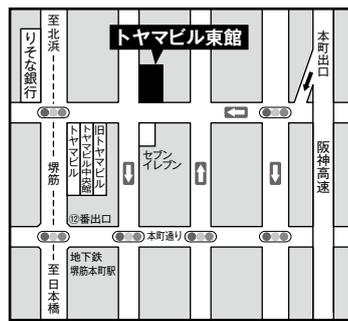
### ●勤務時間

9:30~18:00

### ●休日

土曜、日曜、祝日

年末年始  
2013年12月28日(土)~  
2014年1月5日(日)



ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

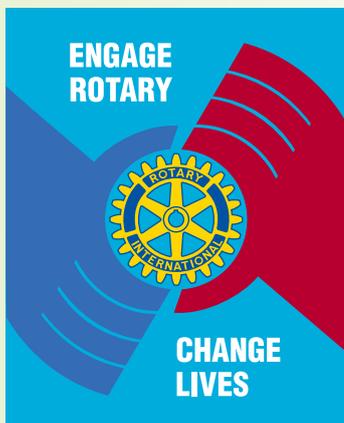
# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

### 国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階  
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

### Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan  
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp



ロータリーを实践し  
みんなに豊かな人生を

# 感動の体験を!!

# 人々にも自身にも

Participate! 参加し、敢行しよう!!

2013-2014年度 国際ロータリー第2660地区

# 地区大会

第1日目

2014年

2月21日 金

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

開会式 <5階メインホール> 14:00 開会

合同研修会 <5階メインホール> 15:10 開会

リーガロイヤルホテル

家族の集い <2階ペリドットの間> 15:30 開会

RI会長代理御夫妻歓迎晩餐会 <光琳の間> 18:00 開宴

第2日目

2014年

2月22日 土

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

本会議 <5階メインホール> 13:00 開会

特別講演 <5階メインホール> 15:30 開会



「日本の進路と誇りある国づくり」

櫻井よしこ氏

ジャーナリスト、国家基本問題研究所理事長。  
クリスチャンサイエンスモニター紙 東京支局の助手として  
ジャーナリズムの仕事を始め、アジア新聞財団 DEPTH NEWS  
記者、東京支局長、NTVニュースキャスターを経て、現在に  
至る。  
2007年にシンクタンク、国家基本問題研究所を設立し、国  
防、外交、憲法、教育、経済など幅広いテーマに関して日本の  
長期戦略の構築に挑んでいる。